

# 台湾における先住民政策の基底



開発、国民化、そして歴史的責任

講師 北村 嘉恵 氏

北海道大学教育学研究院・教授

司会・コメント：辻 康夫 北海道大学法学研究科・教授

## 開催情報

日時	2026年5月29日（金）16:30-18:00			会場地図 
場所	北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 2階 W201室 ( <a href="#">地図</a> )			
参加費	無料	定員	60名（先着順）	登録フォーム 
申込	Google フォーム( <a href="https://forms.gle/D9S92r75mTchTcEWA">https://forms.gle/D9S92r75mTchTcEWA</a> )より事前登録			

## 講演概要

台湾の先住民の存在は、国家や主流社会からどのように位置づけられてきたのか。現代台湾における先住民政策は、先住民自身の実践や言論、そして国家および主流社会による歴史的責任の引き受け方と、どのように関わっているのか。本講演では、長期的な視座から台湾先住民政策の輪郭をたどり、その基底にある問題について考えます。台湾の経験に即して、植民地主義や人種主義の問題を、現在のわたしたち自身への問いとして考える回路を探りたいと思います。

## ★GRID 講演会シリーズ「先住民政策・先住民研究の現在」について

「先住民の権利に関する国連宣言」の採択から19年、「アイヌ民族を先住民と認めた国会決議」から18年。諸国の政策と研究は大きく進展しました。各分野の専門家をお招きし、今日の先住民問題、先住民研究の全体像を俯瞰し、将来を展望します。広く皆様のご参加をお待ちしています。

主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター 先住民・文化的多様性グローバル研究ユニット（GRID）

問い合わせ：GRID オフィス [grid@let.hokudai.ac.jp](mailto:grid@let.hokudai.ac.jp)

本講演会は国際先導研究「先住民知に基づく国際プラットフォームの構築：先住権・文化・ウェルビーイングの探究」による事業です。